



2026年2月5日

各 位

会社名 株式会社情報戦略テクノロジー
代表者名 代表取締役社長 高井 淳
(コード番号：155A 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 瀧本 崇
(TEL 03-6277-3461)

次世代 AI 技術の社会実装を加速、全社規模の「AI ハッカソン」決勝戦を開催 ～「AI エージェント（自律型 AI）」の開発力強化により、0 次 DX の付加価値を向上～

株式会社情報戦略テクノロジー（東京都渋谷区、代表取締役社長 高井 淳、以下「当社」）は、生成 AI 技術の実装能力強化および高度 IT 人材の育成を目的とした社内技術競技会「第一回 全社 AI ハッカソン」の決勝戦を、2026 年 1 月 23 日（金）に開催いたしました。



記

■開催の背景と戦略的意義

当社は、顧客企業の課題解決に直結する「0 次 DX」を推進しております。昨今、企業の DX 需要は「AI の導入」から、AI が自律的に業務を遂行する「AI エージェント化」へと高度化しています。この市場ニーズに即応するため、エンジニア一人ひとりが最新の生成 AI 技術をビジネス価値へ変換する能力を習得することを目的として、本施策を実施いたしました。本プログラムは、将来の収益基盤を支える「人的資本への重点投資」として位置づけております。

■全社横断的な技術研鑽の仕組みと厳正な評価体制

持続的な成長の源泉である「人材」の価値最大化を目的に、全社横断的な技術研鑽の枠組みを構築いたしました。社員一人ひとりの意欲（エンゲージメント）を技術革新の原動力へと変換する本施策は、当社のソリューション提供能力を高度化し、高付加価値なサービス提供を実現するための基盤となります。

- **実務適用を前提とした長期プログラム**

2025年より「ハンズオン」「アイデアソン」「予選」を段階的に実施。2ヶ月間にわたる長期プログラムの中で、社内メンターによるフィードバックを繰り返すことで、実務に即転用可能なレベルまで技術検証を深めました。

- **客観的かつ厳正な審査体制**

技術的な「実現可能性」とビジネスとしての「有用性」を多角的に評価するため、グローバル大手クラウドベンダーの技術責任者やAIベンチャーのエンジニアなど、業界のトップランナーを外部審査員として招聘いたしました。

- **アウトプットの質を追求する発表環境**

決勝戦では、大型スクリーンを備えた外部特設会場にてプレゼンテーションを実施いたしました。細部まで視認性の高い環境でデモンストレーションを行うことで、技術成果の厳格な評価を行うとともに、全社を挙げたAI注力姿勢を改めて明確にいたしました。

■決勝戦の成果（受賞プロダクトの概要）

予選を勝ち抜いた6チームが、次世代の核となる高度な技術テーマに挑戦しました。

- **【最優秀賞】AR技術とAIによる「リスク検知・回避」エージェント**

空間認識技術（AR）と画像認識AIを組み合わせ、物理的な危険箇所をリアルタイムで特定・警告するシステム。技術的な実装難易度の高さと、安全管理分野への応用可能性が高く評価されました。

- **【優秀賞】組織データを活用した「コミュニケーション最適化」エージェント**

社内データを解析し、AIが自律的に社員間の最適なマッチングと日程調整を行うシステム。AIが能動的に組織活性化を促すUX（顧客体験）設計が評価されました。

- **【イノベーション賞】専門家AIが連携する「課題解決型」マルチエージェント**

特定の領域に特化した複数のAIが連携し、ユーザーの複雑な悩みを解決へ導くプラットフォーム。単体のAIでは難しい複合的な課題解決を可能にするアーキテクチャが評価されました。

■今後の展望

本プログラムで蓄積された「AIエージェント構築ノウハウ」は、当社の主力事業であるDX内製支援サービスにおける提案力・開発力強化に直結するものです。当社は、今後も積極的な技術投資と人材育成を継続し、高付加価値なソリューション提供を通じて、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

■会社概要

【株式会社情報戦略テクノロジー】

会社名：株式会社情報戦略テクノロジー（東証グロース・155A）

代表者：代表取締役社長 高井 淳

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー15F

電話：03-6277-3461

事業内容：大手企業向けDX内製支援サービス等

URL：<https://www.is-tech.co.jp/>

以上